

会議録(会議結果概要)

名 称	第3回各務原市都市計画マスタープラン策定委員会		
開催日時	令和7年6月5日(木)15時00分～17時00分		
開催場所	各務原市産業文化センター7階 第1大会議室		
出席者	学識経験を有する者	市民または市内の 事業所に勤務する者	市職員
	はっとり あつし 服部 敦(委員長) かわぐち のぶこ 川口 暢子(副委員長) はぎわら たくや 萩原 拓也	なみき すげゆき 並木 祐之 まつばら ふみたか 松原 史尚 きむら てつゆき 木村 徹之 ながた みほ 永田 美帆 おおの まさたか 大野 雅尚 ふく むつり 福 睦徳(欠席)	おおや みつぐ 大矢 貢 わらせ まこと 村瀬 誠 かわぐち まきみつ 川口 雅慎
議 題	次第 1 開会 2 委員長あいさつ 3 第2回策定委員会の振り返り 市民アンケート集計結果(修正版) 4 議事 (1)都市づくりの理念・目標について (2)将来都市構造について (3)都市整備の方針について (4)計画素案について(第1章、第2章) 5 その他 6 閉会		
	1 開会		
	≪事務局より説明≫		
	2 委員長挨拶		
	≪委員長より挨拶≫		
	3 第2回策定委員会の振り返り 市民アンケート集計結果(修正版)		
	≪事務局 説明≫(資料1、2)		

	4 議事 【事務局】 初めに、本日は委員12名中11名にご出席をいただいております、各務原市附属機関設置条例第7条第2項に規定されている定足数過半数に達しているため、本委員会が成立していることを報告する。 《以降、進行を服部委員長とする》 【委員長】 それでは、これ以降については、傍聴者の傍聴を認めることとするが、よろしいか。 《委員了承》 【委員長】 本日傍聴者の方はお見えか。 【事務局】 傍聴希望者はいません。 【委員長】 わかりました。 (1)都市づくりの理念・目標について 《事務局 説明》(資料3) 《質疑・意見》 【委員】 ・ P2「2.都市づくりの理念・目標」の理念3について、河川に関する都市整備の方針に○が打たれていない。河川の治水整備の観点で、理念4と関連することはよくわかるが、理念3でも河川の景観や環境に配慮した整備の観点から、関連するのではないか。 【事務局】 ・ 河川については、理念4「安全・安心な都市」において、治水対策等の観点で整理している。ご意見のとおり、理念3の目標にある「水」という表現の中で水辺環境の方針についても関連しているため、整備方針に○を追加する。 【委員】 ・ 理念3の目標「美しい水と緑を継承・創出する都市づくり」について、人口減少が進む中で、市民の方のオープンスペースの維持管理に関心が高まりつつあることから、活用というキーワードを打ち出していこうと緑の基本計画の策定委員会でも検討していた。 このようなことから、理念3の目標の中で「活用」の考え方は、どのように表現されているのか。「活用」も目標として掲げていくと良いのではないか。 【事務局】 ・ 現在の目標では、「活用」という表現で示しておらず、継承・創出を通して利用したくなる・活用したくなる環境を整え、都市づくりをしていくという意味を含め、このような目標を掲げている。
--	--

	【委員】 ・ 緑の基本計画との連携を図るのであれば、わかりやすい表現として「活用」という言葉を取り入れると良いのではないかと。 【委員長】 ・ 「継承」という表現は、「保全・活用」することにより、「継承する」という考え方もできる。「活用」という言葉をどう取り入れるか、言葉の概念整理をしていただきたい。理念 5「歴史・文化を継承・活用する都市」にも関連する内容である。 【委員】 ・ 保全・創出という表現は、これまで取り組まれてきた内容であり、違和感ないものであるが、今後は「活用」を加えた3つの要素を表現することが、よりふさわしいのではないかと思う。 【事務局】 ・ いただいたご意見を踏まえ、再検討する。 【委員】 ・ SDGsを目指していくという観点も踏まえて検討すると良いかと思う。 【事務局】 ・ 了解した。
	(2) 将来都市構造について ≪事務局 説明≫(資料4) ≪質疑・意見≫ 【委員】 ・ 市街化区域内の周辺市街地ゾーンは、言葉の表現として「周辺」と付くと、郊外的な市街地と捉えてしまう可能性があるのではないかと。 周辺市街地ゾーンより市街地ゾーンの方がより拠点的な市街地と捉えやすく、階層としては逆転しているように感じる。 【委員長】 ・ 周辺市街地の位置付けとしては、中心市街地に次ぐ、準市街地のような意味合い。表現については、検討議題としてください。 【委員】 ・ 「産業拠点(新)」で挙げた拠点について、市内には様々な候補地がある中で、なぜこれらの拠点を本計画の将来都市構造に示したのか、その背景を教えてください。

	【事務局】 - 候補地の選定理由として、都市計画道路の整備が見込まれることが大きく関係している。 今回選定した2地区は、(都)岐阜鵜沼線、(都)各務原扶桑線沿線の地域である。(都)各務原扶桑線を例に挙げると、現在、(仮称)新愛岐大橋の整備が進められており、開通すれば愛知県間のアクセスが非常に良くなり、さらにその延長線上のテックフォルテにつながっている。また、市内全体を見ても、これほどの一団の未利用地が広がっている場所が残っていない。ただ、現状これらの拠点は優良農地となっているため、農業との調整を図りつつ、10年先を見据えた計画として示している。 【委員】 - 凡例「産業拠点(新)」について、候補地を「(新)」と表現すると決定事項と捉える可能性がある。「候補地」や「検討」など表現方法を変えた方が良いのではないかな。 【事務局】 - いただいたご意見を踏まえ、検討する。 【委員】 - 地域生活拠点と周辺市街地ゾーンの関係性について、周辺市街地ゾーンでは、4駅とその周辺を位置付けているとあるが、地域生活拠点では、一部市街地ゾーンを含んでいる箇所が見受けられる。その理由を教えてください。 【事務局】 - 周辺市街地ゾーンの指定範囲については、各務原市立地適正化計画での都市機能誘導区域と同範囲を周辺市街地ゾーンとして位置付けている。 【委員】 - 本市の魅力は、東西に鉄道が2路線通っていることだと感じている。将来都市構造図の中で、今後も重要なものであるというメッセージ性も盛り込めると良いのではないかな。 【委員長】 - 立地適正化計画上だけでなく、立地適正化計画でなぜこの範囲を都市機能誘導区域としたのか背景を踏まえ、本計画として設定した背景の整理をした方が良い。 【事務局】 - 了解した。
	(3)都市整備の方針について ≪事務局 説明≫(資料5) ≪質疑・意見≫ 【委員】 - 土地利用方針に関連して、現状市内に住みたいと思う方もいるが、各務原市の土地の市場が高いことが要因で、移り住めない方が多くいる。住宅のストック活用の観点において市内への移住を考えている方に向けて、方針を示すと良いのではないかな。 - また、近年他県では、学校の統廃合の動きが著しい。各務原市はどこまでやるべきなのか。学校の方針をもう少し踏み込んで示すと良いのではないかな。

【事務局】

- ・ スtock活用とは少し異なるかもしれないが、郊外における動向としては、大規模な住宅団地では、団地内の居住者が減少傾向にあることから、複数の団地に統合させ、空きとなった団地を解体し、福祉施設等を新たに建設するなどの事例がある。
- ・ 今後、市街化調整区域でも鉄道駅周辺においては、無秩序な市街地形成を防ぎつつ土地の有効利用を図っていきたいと考えている。
- ・ 学校の方針については、本計画とは別に基本方針を策定しており、それらの方針と整合を図った記載方法を検討中である。

【委員】

- ・ インフラの老朽化対策について、詳細な方針をもう少し示すべきでないか。

【事務局】

- ・ インフラごとに詳細を記載した計画があり、それぞれ個別計画に詳しいインフラの老朽対策に関する方針が記載されている。例えば、橋梁には長寿命計画があり、5年ごとに点検をし、必要に応じて修繕を行う計画となっている。都市計画マスタープランでは、おおまかな方針を示している。

【委員】

- ・ P7「土地利用方針図」について、鉄道駅近接エリアに指定している範囲は将来的に市街化区域としていくのか、あるいは市街化調整区域のままとなるのか教えていただきたい。

鉄道駅近接エリア全体の市街化を図った場合、立地適正化計画の理念と反した方針となってしまうのではないか。

【事務局】

- ・ 市街化調整区域のままとなる。
- ・ 各務原市立地適正化計画では、市街化調整区域内においても、小学校や駅周辺では、現状の人口密度を維持していくことを目標としており、立地適正化計画の方針とは反するものではないと考えている。

【委員】

- ・ P25「(3)安全安心①防災」について、土地利用の観点を変えてこの分野に掲載しても良いのではないか。
- ・ 道路の整備の方針について、単に道路を完成させる方針だけでなく、ウォークアブルの取組みと関連するかもしれないが、道路整備を行うことによって歩行環境やその周辺環境がどのくらい豊かになるのか、このような観点を整備方針に明記すると良いのではないか。

【委員長】

- ・ 委員の意見はまちづくりの方針になると思う。
関連分野にまちづくりの整備方針についての考え方を記載した章をひとつ追加してはどうか。

【事務局】

- ・ いただいたご意見を踏まえ、再検討する。

	(4)計画・素案について(第1章、第2章)
	≪事務局 説明≫(資料6)
	≪質疑・意見なし≫
	5 その他
	今回いただいたご意見を踏まえ、再検討をしつつ、次回の策定委員会では、地区別の構想について検討いただきたいと考えている。
	6 閉会
	第3回都市計画マスタープラン策定委員会 終了
会議資料	資料 1 :第2回策定委員会の振り返り 資料 2 :市民アンケート集計結果(修正版) 資料 3 :(1)都市づくりの理念について 資料 4 :(2)将来都市構造について 資料 5 :(3)都市整備の方針について 資料 6 :(4)計画素案について(第1章、第2章)